

2013 年度 医薬品開発のための Population Pharmacokinetics/Pharmacodynamics セミナー

開催概要:

日時 平成 25 年 8 月 22 日、23 日 (2 日間)

場所 慶應義塾大学 芝共立キャンパス

(東京都港区芝公園 1-5-30)

<http://www.keio.ac.jp/ja/access/shiba.html>



事前のお願い:

本年度は全コース PC を貸与いたします。お手数ですが演習で利用したファイルを持ち帰るために、各自 USB 接続のストレージ機器・メモリ等をご用意いただけますようお願い致します。

当日の服装について:

軽装にてご参加下さい。

受付および講義室:

受付: マルチメディア講堂 (初日のみ設置)

お名前と参加コースを受付にてお知らせ下さい。講義テキストと名刺ホルダーをお渡しいたします。

受付後は全コースマルチメディア講堂にお集まり下さい。開会の挨拶が終わりましたら各講義室にご案内いたします。

なお、受講コースの教室以外への立ち入りはご遠慮ください。

キャンパス内は全面禁煙となっております。(港区の路上は全面禁煙となっております。)

スケジュール

Day 1:

時間	初心者コース	Advancedコース	PK/PD コース	M&S コース
9:30-	受付			
10:00-10:15	開会式			
10:15-12:00	臨床薬物動態学の基礎講座 母集団薬物動態解析の基礎	モデリング総論・講義	薬物速度論の講義 ユーザー定義モデル(ADVAN6)の作り方の講義と演習	講義:糖尿病治療薬開発における M&S の応用
12:00-13:00	昼食			
13:00-15:00	NONMEM の起動 (Hands On)	演習1 PK データのモデリング	ユーザー定義モデル(ADVAN6)の作り方の演習(続き) PK-PD 概論の講義	演習1 Hands-on
15:00-15:30	休憩			
15:30-17:50	NONMEM による population PK 解析 (Hands On)	演習2 採血時点の設定	PK-PD 解析演習: シグモイド Emax モデル PK-PD 解析演習: 効果コンパートメント	演習2 Hands-on
18:00-20:30	懇親会			

Day 2:

時間	初心者コース	Advanced コース	PK/PD コース	M&S コース
9:00-12:00	結果の妥当性について 共変量探索の実際 (Hands On)	演習2 採血時点の設定 (続き) 演習3 スパースデータのモデリング	宿題解説 PK-PD 解析演習: 間接反応モデル	演習2 Hands-on (続き)
12:00-13:00	昼食			
13:00-16:00	共変量探索の実際 (Hands On) まとめと Q & A	演習3 スパースデータのモデリング (続き) 全体講義とまとめ講義	PK-PD モデルのバリエーション (概念, コントロール, データ構造の解説 を含む) Q&A 総括	発表会 / ディスカッション 講義: Model-based meta analysis (MBMA)
16:00-17:00	PMDA 講演会			
17:00-18:00	総合討論・修了証授与			

医薬品開発ツールとしての母集団 PK-PD 解析 —入門からモデリング&シミュレーション—



母集団 PK-PD 解析の手引き書。医薬品の薬物動態学，薬力学の解析を混合効果モデルにより行う。最も汎用されている NONMEM を使用し演習課題に取り組みながら，複雑な構造を有する混合効果モデルの概念を把握し，解析できるよう構成

B5/208 ページ/2010 年 09 月 10 日

ISBN978-4-254-34026-6 C3047

定価 3,990 円(税込)